

栗東市立 金勝第2保育園

日時：2016年12月8日（木）13:30-17:00

2016年12月15日（木）9:30-16:00

場所：栗東市御園 1028

JRA栗東トレーニングセンター内にある保育園。園庭にはドングリを始め実のなる木、紅葉する木など自然がたくさんあります。今回はその園庭の自然を活かしてプログラムを作成し、実践しました。

（対象：歳児 計名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

滋賀県の幼児自然体験は・・・

平成12年度から始まった幼児自然体験。これまでの自然との関わりは、①お散歩 ②飼育・栽培 ③製作活動が主でした。そこで、五感を使って自然を感じるような遊びを取り入れていくように研修を進めています。

松葉ずもうをしてみよう

園に落ちているアカマツの葉っぱ。互いに引っ張り合って、松葉ずもうをしました。勝てるように、1本1本の松葉を見ているうちに、長さも太さも、色も、それぞれが違うことに気づきます。自然遊びから、個性の大切さを伝えるきっかけになります。



研修の最初は、プログラム集も使って、座学でねらいや効果を学びます



松葉ずもうで、心もほぐれて自然遊びが楽しくなっています。

宝さがし

「宝探しに行くよ」との声で、とっても嬉しそうな子ども達。ひとり一人好きな自然物を拾います。グループで拾って来たものを見せ合いっこした後、グループで拾いたいテーマ（例、つるつるしたもの、茶色、枝など）を決めて、拾います。みんなが拾って来たものを、不織布に貼りつけて、みんなの宝物を見てもらいます。みんなにとっての宝物の自然は、生き物にとっても宝物、拾ったものは、森へ返します。

こんな宝物拾ったよ。見せて見せて



グループで、拾った物を見せ合いっこ。石に、枝、長い棒、葉っぱ、ドングリ、いろいろ集まりました。

石はツルツルしているよ。ドングリはツルツルしているのと、ちょっとザラザラしているがあるよ。

みんなが拾って来た宝物を貼りつけたよ。色んな色の小さな石、つるつるしたものなど、テーマによって、いろいろな自然物があるんだね。



ひろって あつめて よーいドン!

みんなの前には、黒い布袋が出てきます。袋の中のおいを嗅いだり、音を聞いたり、触ってみて、袋の中は葉っぱだったことに気づきます。まずは、たくさんの葉っぱを布に集め、さらにそれを運ぶリレーをします。葉っぱのにおいや音、感触を知り、楽しく遊ぶことを楽しみます。

何が入ってるかな。において、音を聞いて、触ってみます。答えは・・・葉っぱだよ



みんなで葉っぱを集めよう。どっちのチームがたくさん集められるかな。



落ち葉リレー、よーいドン! 走れー走れー 落とさないでね。

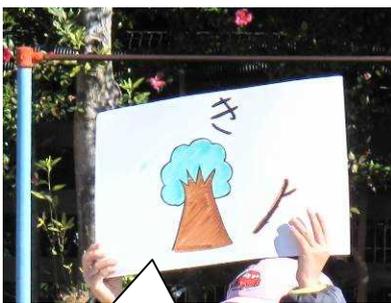


布を畳んで運ぶと葉っぱが落ちないよ。だけど、慎重に慎重に・・・

めくって なにができるかな? たからさがし りれー!

子どもたちの前に、画用紙のカードが並んでいます。よーいドン! で走り、カードをめくるとそこには葉っぱやドングリ、石など自然物が描いてあります。急いでそれを探して次の人にタッチ。何を捨るかカードをめくる楽しさがあります。2 回目はカードが増えます。捨てる、においをかぐ、音を聞くなど行動が記してあります。1 枚目のカードの自然物と行動を合わせて行きます。遊びながら、自然物に触れ五感で感じられます。

途中でカードをめくって、みんなに見せてあげてね。



1 回目
僕は木のカードやった!
見つけてくるよー



2 回目
僕は、捨てるカードだ!
僕は、背中に乗せるカードだ!



リレーが終わったら、森に自然を返しに行こう!

プログラムを終えてのふりかえりから

- ・保育者が思うより、子どもがいろんなことを考えていることが、つぶやきから分かった。自然での体験の大事さがよく分かった。
- ・自然で遊ぶというのは、園外の豊かな自然の所で遊ぶことと思っていたが、この研修を経て、園庭でもこれだけ自然物で体験できるということが良く分かった。園に帰って保育者と共有していきたい。